

令和 6 年 12 月 26 日

新型コロナウイルス罹患後症状（コロナ後遺症）の倦怠感に対する 臨床研究を開始

◆発表のポイント

- ・岡山大学病院総合内科・総合診療科でコロナ後遺症の全身倦怠感（体のだるさ）をきたしている患者さんを対象に、2024年12月から臨床研究を開始しました。
- ・本研究で薬剤の有効性が示されれば、コロナ後遺症の症状でもっとも多い倦怠感に対する、科学的根拠のある治療法が確立されることが期待されます。

岡山大学病院総合内科・総合診療科の徳増一樹研究准教授と岡山大学学術研究院医歯薬学域（医）総合内科学の大塚文男教授らのチームは、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の委託を受けて、新型コロナウイルス罹患後症状（以下、コロナ後遺症）の「体のだるさ」で困っている患者さんを対象に2024年12月から臨床研究を開始しました。募集期間は2026年9月末までです。

本研究は18歳以上、受診の1カ月から半年前にCOVID-19と診断された方が対象です。試験薬（補中益気湯またはプラセボ薬）を1日2～3回6週間（42日間）服用いただくことになります。服用終了日（42日目）と服用開始から70日目に来院していただき、診察や各種検査を実施して経過を観察します。

本研究で薬の有効性が示されれば、世界的にもコロナ後遺症に対する科学的根拠のある治療法になることが期待されます。

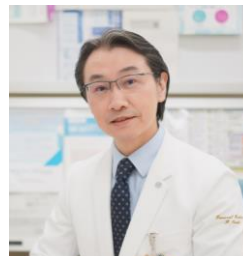
◆研究者からのひとこと

当院のコロナ・アフターケア外来（コロナ後遺症外来）は、総合内科・総合診療科の医師がチームで担当しています。実際に、倦怠感で困られている患者さんが多く、有効な治療法を確立できれば、より多くの患者さんへの医療貢献になると考えています。



徳増 研究准教授

新型コロナウイルス感染症の5類移行後1年半が経過し、感染者の数は減少していますが、感染後も数カ月持続する倦怠感などを訴える後遺症は、一定の割合で発生しています。コロナ後遺症の治療薬について本研究により貢献できることを期待しています。



大塚 教授



PRESS RELEASE

■発表内容

<研究の内容>

2024年12月2日から岡山大学病院総合内科・総合診療科で、特定臨床研究「全身倦怠感のあるLong COVID患者に対する補中益気湯の有効性検証のランダム化比較試験」を開始しました。COVID-19のパンデミックは4年半以上続き、世界中で7億7000万人以上の患者、700万人の死者が報告されています。WHOから収束宣言が出て、日本国内では5類感染症に移行した後も、日常の中で感染症として残存しています。問題なのは、COVID-19はウイルス感染によって引き起こされる急性期症状だけでなく、後遺症状を引き起こすことです。新型コロナウイルス感染症罹患後の後遺症状（コロナ後遺症）とよばれ、世界的に全身倦怠感、嗅覚・味覚障害、微熱、頭痛、脱毛などさまざまな症状が報告され、日本でも同様の報告が蓄積されています。このうち、「全身倦怠感（体のだるさ）」は、もっとも多い症状です。これまでもコロナ後遺症の治療薬が求められてきましたが、いまだ確立した治療法がないのが現状です。

岡山大学病院総合内科・総合診療科は2021年2月に全国的にもいち早くコロナ後遺症を専門に診療する「コロナ・アフターケア外来」を開設し、これまで1000人以上の患者さんを診療してきました。その中で、日本の伝統的な漢方薬である「補中益気湯」に着目し、コロナ後遺症に効果がありそうであると実感していました。ただ、現在の医療において治療法として確立するためには臨床研究を行う必要があり、このたび国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の委託を受けて、本研究を開始することになりました（下図参照）。

<図. 研究の概要>

コロナ後遺症の研究に参加される皆様へ


新型コロナウイルス感染症にかかった後の
「体のだるさ」で困られている方へ

募集期間：2024年12月2日～2026年9月30日

- 本研究は**通院**にて実施します。
- 試験薬：補中益気湯またはプラセボ薬を**1日2-3回6週間**服用いただきます。
- 検査：心電図/胸部X線（初回のみ）・採血/採尿（受診毎）を行います。
- 参加条件：**18歳以上、受診の1ヶ月から半年前にCOVID-19と診断された方。**

※ この他にも、参加の基準があります。診察や検査結果によっては研究に参加いただけない場合もございますので、予めご了承ください。

期間	介入前	介入期間			後観察期間
項目		0日目	28日目	42日目	70日目
	研究説明 同意取得				
来院	●	●		●	●
診察		●		●	●
血液検査	○※			●	●
被験薬		➔			
※ 同意取得4週間までの情報使用		オンラインでアンケート回答			



【研究に関するお問い合わせ】
 岡山大学病院 総合内科・総合診療科
TEL：086-223-7151
 受付時間：平日（月～金）9:00-17:00
 電話担当者に「総合内科・総合診療科に繋いでください」とお伝えください。
 Eメール：okayamagm9@gmail.com

※ 研究参加いただければ、42日目、70日目に少額ですが謝礼をご用意しております。



PRESS RELEASE

<社会的な意義>

本研究は、現在治療法の確立していない全身倦怠感のあるコロナ後遺症に対して、「補中益気湯」が治療選択肢として提供できる可能性につながります。コロナ後遺症の全身倦怠感は、学業や就労を含め、日常生活の障害が社会問題となっているため、治療法が確立されれば、その負担を軽減することで、日常生活・社会生活の向上に寄与し、将来的にコロナ後遺症の治療ガイドラインの作成に貢献できることが期待されます。

■研究資金

本研究は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（Japan Agency for Medical Research and Development：AMED）「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業、研究開発課題名「全身倦怠感のある Long COVID 患者に対する補中益気湯の有効性検証のランダム化比較試験」の支援を受けて実施しています。

<お問い合わせ>

岡山大学病院 総合内科・総合診療科
研究准教授 徳増 一樹
(電話番号) 086-235-7342
(FAX) 086-235-7345



岡山大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

